

ふじさわ・九条の会ニュース

NO48



発行人 ふじさわ・九条の会 事務局長 島田啓子 0466-34-5843

<http://hws2.spaaqs.ne.jp/fujisawa9jo/>

安倍首相の改憲を阻止しようと 野党統一候補を求める 神奈川12区市民の会発足

2月24日、藤沢市民会館第2展示ホールで、「野党統一候補を求める神奈川12区市民の会」の発足集会が開かれた。当日の参加者は約180人。安倍首相の改憲を阻止するために次の衆議院選挙で神奈川12区で野党統一候補を擁立



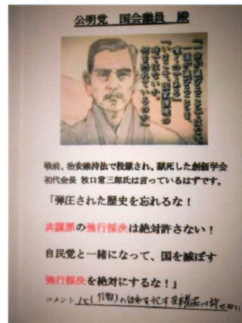
し、市民と野党の共同で自民党の議席を奪還しようというものである。当日は、

総がかり行動実行委員会の高田健さん（写真）が、「市民と野党の共闘が政治と暮らしを変える」というテーマで講演された。さらに民進党、共産党、社民党、自由党の代表（写真）が駆け付けて野党統一推進の立場で挨拶された。また、2人の市民からも発言があり、何としても次の選挙で野党を前進させ、自民党の9条改悪、民主主義破壊の攻撃を阻止しようという決意が述べられた。今後の市民の会の取り組みとしては、早急に野党統一候補を決め、政策協定を締結し、選挙戦に望むこととしている。（小林麻須男）

「共謀罪」成立阻止に向け ハガキ作戦、国会前行動展開



「秘密保護法廃止をめざす藤沢の会」は公明党全議員に「共謀罪の国会成立を阻止する



ように」と訴えるハガキを送っています。公明党の支持母体である創価学会の初代会長牧口常三郎さんは、戦前の治安維持法と不敬罪によって、逮捕、投獄され、転向を拒んだため獄死した方なのです。公明党には牧

口さんの死の意味を考え、共謀罪に反対するように訴えてきました。状況に応じてハガキの内容を変えながら3回にわけて印刷したハガキは8300枚になりました（3月20日現在）。藤沢近辺だけでなく、日比谷野音、国会議員会館前行動、院内集会などでも協力を呼びかけて配りました。国会議員会館前行動ではハガキ作戦についてマイクで訴えさせてもらったり、そのあとの院内集会では弓仲弁護士が「藤沢でやっているハガキ作戦はとて素晴らしい」と会場にいる人たちにハガキを紹介して下さったりしたので、その日に持って行った1200枚のハガキは一日で全部参加者の皆さんに引き受けてもらいました。

最後の最後まで公明党議員の良心に訴えていきたい。心の自由を守る戦いをあきらめるわけにはいきません。（松本和美）

アベ政権の大嘘を許すな。

南スーダン駆け付け警護の破綻

吉塚 晴夫

アベ政権は先日、突如南スーダンからの自衛隊撤収を発表した。それは丁度、森友学園の理事長籠池氏が、これも突如として小学校の認可申請取り下げ、理事長辞任を発表していた同じ時間に行われたのだ。明らかに森友のスキャンダルを隠す為の意図的な操作である。そしてまた南スーダンの情勢が、安倍総理や稲田防衛相の嘘で糊塗出来ないほどに悪化して、自衛隊員に死者が出る恐れが現実になったのであろう。

何にせよ自衛隊の撤収は、私たち9条の会をはじめとした市民の行動の成果である。私たちはこの事に自信を持とう。そして行動を続けよう。アベ政権は安保法の実績作りの為に「駆け付け警護」を付与し、強引に南スーダンに自衛隊を送り込んだ。殺戮、破壊が日常である現地を「戦闘ではなく衝突だ」と言い張り、現地部隊の「日報」開示請求には、廃棄したと虚偽回答を行い、国会で追及されるや、実はあったと恥の上塗りをし、しかも発見から防衛大臣稲田への連絡まで、1か月もかかっていた。これは文民統制の崩壊である。アベ政権は嘘で成り立つ史上希な政権である。

「六会・九条の会」11周年記念講演より

「国連平和権利宣言と

日本の九条の果たす国際的役割」

笹本 潤 弁護士

今回の講演のメッセージは「平和に生きる権利」についてだった。



昨年12月に、国連総会で「国連平和権利宣言」について論議されたが、採択

に当たって、欧米諸国は反対。日本も反対で不採択となってしまった。しかし、こうした論議

が国連で行われていることは、あまり知られていない。きっかけになったのはイラク戦争。スペインのNGOが『平和に対する人権規定』があれば、、、と動き始め、笹本さんも他国のNGOなどとネットワークを作り、国連人権理事会で訴えた。

日本の憲法には「全世界の国民に平和的生存権を」と書いてある。この権利をどう使い、何ができるかについて、憲法9条を持つ日本の発言が重視される。しかし、今の段階では国連の論議は、拘束力のない宣言の採択に過ぎない。今後はこの権利の「条約化」が重要だ。『平和に対する人権規定』が条約化されれば、より拘束力のあるものになる。日本では、憲法の平和的生存権を根拠に「戦争法は違憲だ」と今でも主張できている。

しかし、こうした憲法を持っている国は世界でも日本とコスタリカしかなく、国連宣言が条約化されれば、各国でも同様に「平和への権利を侵害する行為をやめろ」と集会で叫んだり、裁判で訴えたりできる。平和憲法を持つ日本が、世界にその価値を訴える機会が格段に増えることになる。私たちの小さな運動も世界につながっていくものになるだろう。(上浦 孝彦)

『わたしの満州物語』を読んで

折原 美知子

小林氏は満州生まれで、5歳の記憶は定かではないけれど、戦後、お母さんから聞かされた話が、自分の記憶と重なっていることを小冊子にまとめたとのこと。

満蒙開拓団のことは、とかく引き揚げ時の悲惨さが語られることが多いが、この本には、富士見開拓団が入植当時から、自ら原野を開拓し中国人とも仲良くしていたため、引き揚げに際し、現地の人から食料を提供されたり、八路軍に匪賊の襲来から守ってもらったりしたことなどが書かれていて、驚いた。

小林氏は自分の原風景を探して、戦後訪中団にも参加し、中国人との交流も深めたという。国策に従ったとはいえ、加害責任を自覚しつつ、人間同士として交流が出来たことはすばらしい。(小林氏の小冊子を読みたい方は

事務局までお申し出下さい。)

地域九条の会の活動に参加して 一学習会、宣伝行動の感想一



「湘南大庭九条の会」では

品川 邦之

毎月一回、辻堂駅北口で憲法守れのスタンディングを行っています。ふじさわ九条の会の大きな旗を掲げ、参加者は「アベ政治を許さない」等のプラカードを胸にぶら下げ、「自衛隊は南スーダンから直ちに撤退しろ」「自衛隊員の命を守れ」「憲法を暮らしの中に生かそう」と訴えています。通行中の市民の皆さんからも、「応援しているよ」「ご苦労様」「頑張ってるね」などの激励も増えてきています。先日はミカンの差し入れもあり、元気にできました。アベ政権退陣までつづけます。

インドの男性の言葉を励みに

吉鶴 美智子

「平和憲法九条を守りましょう」とチラシを手渡す私に「アベ 大好きだ！」とつかかかる男性。「強い国をつくる指導者。」と思いこんでいる男性でしょうか。

11年前、インドのホームステイ先で「あなたは日本の誇りをなんだと考えますか」と問われ、答えにつまりました。「戦争をしないと誓ったすばらしい憲法をもつ日本」と逆に諭されました。

私はこのインドの男性の言葉を励みにして宣伝行動に参加しています。

スタンディング、私の管見

西川 幾之進

毎週月曜日の「抗議の火を絶やさない！」等のスタンディングに初参加以来間もなく三年を迎える。駅頭に立って道行く人を眺めていると①「無関心派」②「微笑派」③「頑張ってる！」の

声掛け支援派」④「難癖派」に分かれよう。最後の④は私にとって論外であるが、北朝鮮、中国が攻めてきたらどうする？の反論も添えて来る。私は、今、正に後何年・・・。と言う意味で「引き算人生」の真っ最中。「子や孫」の世代に「平和憲法」の理念、思想が今後とも末永く引き継がれていくことを心底願って②や③の人々の増加を目指して明日からも地道に、愚直にスタンディングを続けて行きたい。

(註) 管見＝意見の謙譲語)

「江ノ電沿線九条の会」では

川崎 典子

私たちの会では、2013年10月から小さな憲法学習会を持ち、今回28回を迎えました。最初は現憲法と自民党改憲草案との相対的な学習を丁寧に行いましたが、曲がりなりにも全文を終わったところで、「平和」のために、今何をどう進めるか考えていくことにしました。今回は戦争の被害者と加害者の関係について学習しました。20名を超す参加者でした。直接的な加害でなくても為政者のいいなりになったという罪が加害者にもあるのです。歌人の岡野弘彦氏は、一緒に特攻に参加を約束した友は戦死し、自分は今生きていることの罪を考えていると書かれています。ですから、私たちは小さな場所でも、自分の考えをちゃんと持ち、努力し、行動する時だと考えます。「江ノ電沿線九条の会」のメインテーマは『子どもたちの未来のために』です。子どもたちの未来が平和で明るいものであって欲しい。

辻堂駅前で毎月宣伝

石崎 美智子

「辻堂文化九条の会」では毎月1回、数人が辻堂駅南口に立って「憲法9条を守ろう」と訴えたり、ふじさわ九条の会のチラシを配っています。何かの目的を持って通り過ぎる方たちに耳を傾けていただいたり、チラシを受取っていただくのは、なかなか難しいことだと感じています。昨秋、時々お見かけする女性が、「私も同じ思いです」とチラシを受け取って下さいました。こんな方たちが増えるように諦めずに続けることが大切と思って、昨日(3月14日)も辻堂駅南口に立ちました。

4/16「ふじさわ・九条の会 12周年の集い」を開催します

本年度の「ふじさわ・九条の会」12周年の集いは、次の様に行われます。

- * 開催日 : 4月16日(日) 13:30 ~
- * 場所 : 藤沢市民会館小ホール
- * 参加費 : 500円(当日700円)



- * 特別企画
: 舞台劇
「比べてみよう！
いまけんといま
けんの社会」
出演～横浜弁
護士会他
「じみけんとは」
自民党憲法草案
のこと、腰を抜
すほど減茶苦茶

な人権蹂躪の憲法案です。「いまけんとは」今の憲法のこと。70年以上に亘って戦争を阻止してきた我が日本国憲法です。

「あすわか」の弁護士が、じみけん派といまけん派に分かれてディベート形式で、自民党草案が如何に最悪であり、日本国憲法がどれ程優れているかを、口角泡を飛ばしながら議論します。プロの演出家に指導された出演者の迫真の演技を堪能して下さい。面白くて為になる「じみけん VS いまけん」をお見逃しなく！

- * ミニコンサート：藤沢合唱団
- * ピースパレード：市民会館～年金事務所前まで

中央集会に参加しよう

<共謀罪反対！日比谷野音集会>

4月6日(木) 18:30～日比谷野外音楽堂

集会後銀座と国会デモ

共催：共謀罪NO！実行委員会と総がかり

行動実行委員会

集合時間：藤沢からは16:49のJR乗車

16:40 ホーム蕎麦屋前集合

<5月3日憲法集会>

5月3日(水・休)
11時～16時(予定)

場所：有明防災公園
(東京臨海広域防
災公園)

主催：5.3憲法集
会実行委員会



<カンパのお礼>

1月のニュース発送時にカンパのをお願いしていたところ、87人の方から266,500円のカンパをいただきました。これからの活動に活用させていただきます。ありがとうございました。(島田)

=告知板=

* 下記の行動、会議はどなたでも参加できます

<2017年度全体集会>

5月14日(日) 15:00～17:00

藤沢市民会館第2会議室

連帯のスピーチ～「九条にノーベル平和賞を」の鷹巣直美さん

<世話人会議>

4月28日(金) 18:30～推進センター

5月29日(月) 13:00～

6月29日(木) 13:30～

<9の日行動>

4月9日(日) 13:30～藤沢駅南口

5月9日(火) 18:30～サンパール広場

6月9日(金) 13:30～

<スタンディング行動>

★「抗議の火を絶やさない」

毎週月曜 12:00～13:00 サンパール広場

★「F・STAP」毎月第1、第4水曜日

15:00～16:00 サンパール広場

★「アベ政治を許さない 全国行動」

毎月3日 13:00～サンパール広場